



新年のご挨拶



大崎町長 東 靖弘

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族・ご親族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、何と申しましても、世界に大きな衝撃を与えた東日本大震災に尽きる一年であつたと存じます。その後、岩手県の階上はしがみ中学校の卒業式の模様がテレビで放映されました。「苦境にあつても、天を恨まず、運命に耐え」と、当時の生徒会長が涙を浮かべながらも、凛然と答辞を述べておりました。その姿に、途方もない悲しみの中にあつて、何とか希望を見出そうとする強い心の内を伺うことができました。私も現地を訪れる機会がございましたが、今、改めて震災がもたらした被害の甚大さに適切な言葉が見つからず、ただ、強く胸を衝かれるばかりです。

東日本大震災への対応につきましては、直後から多くの方々に義援金や物資などのご支援をいただき、改めて感謝と御礼を申し上げます。

町としましては、大隅半島内の4市5町が一体となり、岩手県大船渡市に職員を派遣するなど、災害復興の支援をさせていただきました。また、町内では、いち早く津波対策検討委員会を開催し、住民の皆様を守るための協議を重ね、第一段階の施策としまして、海沿いの地域を中心に標高表示板を設置いたしました。